

【keiko&安達充イン青葉中学校、葛飾～MS 支援に感謝～】

東京都葛飾区堀切の葛飾区立青葉中学校の体育館にて7月19日(木)の猛暑日、校長の千葉先生のご依頼により啓発MSミニ講演会とミニコンサートが催されました。5月26日の世界MSデーに参加してチラシ配布を手伝ってくれた青葉中学生への御礼の意味も含まれています。この日、青葉中学校では「難病撲滅支援ボランティア」活動の報告会があり、活動に参加してくれた2名が感想を語ってくれました。その後、日本MS協会からMSの説明・紹介が行われました。次にソングライターアーティストの安達充さんによる「世界で一番素敵な言葉」に関する講演会と続きました。「自分を必要とされている」「自分は愛されている。大切に思われている。」氏名は、使命であり、指名ともつながっている。その後MS患者の歌手 keiko さんのお話があり、安達充さんのダイナミックなピアノ演奏と keiko さんによるエネルギッシュな「世界で一番素敵な言葉」の歌と続きました。拍手喝采でした。ビデオをバックにピアノと歌が一つになり会場を包み込みました。(世界で一番素敵な言葉 世界で一番愛しい言葉 世界で一番大事な言葉 それはあなたの名前です…)で始まるこの歌、体育館にいた生徒、先生、保護者皆さんの全員が大きな感動を受けられたようです。5月26日の世界MSデーの日に着たブルーのTシャツを、2名の生徒さん、そして、keiko さん、安達充さんも着てくださいました。去る5月26日の世界MSデーの日に、青葉中学校の生徒さんが明るく飛び回りながら元気に頑張って配布してくれたことが思い出されました。keiko さん、安達充さん本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。本当に暑い中、世界MSデーのTシャツを着てください、汗を流しながら未来を背負う中学生皆さんのために歌をご披露してくださいました。生徒皆さんの胸にしっかりと刻まれた誠に尊いイベントになったと思います。「素敵な歌と歌詞ですね。」と翌日の青葉中学校の「学校たより」に早速掲載されました。校長の千葉先生、副校長の木曾先生はじめ、先生の皆様に大変お世話になりました。青葉中学校の生徒の皆さん、暑い中、難病のMSの話を書いてくださりありがとうございました。

今後も一人でも多くの人たちにMSという病気を知っていただくため、このような草の根運動を継続してまいります。葛飾区立青葉中学生の皆さん、先生、保護者の皆さん、今後もお元気で頑張ってください。また、ぜひお会いしたいと思います。よろしく願いいたします。それでは、keiko さん、安達充さん、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

認定NPO法人日本多発性硬化症協会 事務局 電話：03-3847-3561

メール：jmssofc@gmail.com

ウェブ：<http://www.jmss.s.jp/>



安達充さんの講演
(MSデーTシャツ)



青葉中学校の校庭で
(千葉校長先生と
～左から2番目～)



keiko さんのコンサート
(世界で一番素敵な言葉)